



夕暮れ時のプリンチペ ディ サヴォイア「Hotel Principe di Savoia」の正面ファサード。ミラノには世界的高級チェーンホテル、著名なデザイナーズホテルなど多くが進出しているが、その中でも屈指の伝統を誇るホテルといえる。樹木が茂ったミラノの共和国広場に臨み、そのネオクラシックなファサードからもホテルの風格と歴史が漂う



華やかなメインバー「Principe Bar」。プリンチペ ディ サヴォイアは市中心部から少し外れているにもかかわらず、地元のお洒落なセレブたちでいつも賑わっている



プリンチペ ディ サヴォイアの華やかな正面エントランス車寄せ



壮麗なホテルエントランスホール



スマートな規律感が漂うレセプションデスク



アフタヌーンティーで人気のロビーラウンジ「Il Salotto」。ミラノきっての待ち合わせスポットでもある



筆者 小原 康裕
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒。
1974年 Munich Re 入社。
2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役 CEO。
JHRCA、日本ホテルレストランコンサルタント
協会常務理事。
SKAL International Tokyo、
Professionnels du Tourisme 会員。
JARC、日本宿泊施設関連協会
アドバイザーボードメンバー。

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
<https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16>

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

Hotel Principe di Savoia, Milan

ミラノには世界的高級チェーンホテル、著名なデザイナーズホテルなど多くが進出しているが、その中でも屈指の伝統を誇るホテルはプリンチペ ディ サヴォイア「Hotel Principe di Savoia」であろう。ホテルは樹木が茂ったミラノの共和国広場に臨み、そのネオクラシックなファサードからもホテルの風格と歴史が漂う。20世紀の初期、この広場には旧ミラノ中央駅があり、1927年に開業したホテルは駅周辺の再開発という一面を持っていた。創業時はミラノ中心部から北部に位置していたため、「北ホテル」

「Hotel du Nord」の名称で営業していたが、後にホテル名は改称され、「サヴォイア家のプリンス」「The Principe」の愛称で親しまれている。

プリンチペ ディ サヴォイアは第二次世界大戦中にドイツ軍の本拠地となったが、戦後はアメリカ軍の司令部として使用された。幾多の変遷を経て、ホテルが欧州の著名ホテルグループ「Compagnia Italiana Grandi Alberghi」「CIGA」のメンバーだった時代に、ホテル名称を現在の「Principe di Savoia」に変更している。1984年にスターウッドホテル&リゾートはCIGAホテルズの支配権を獲得。その後2003年、ホテルはブルネイ投資庁「BIA」



メインダイニング「Acanto Restaurant」は、若きスターシェフの Alessandro Buffolino が腕を振るう



「Acanto Restaurant」は本格的イタリア料理のレストランで、シェフの“お任せ料理”といえる「The Chef's Table」は圧巻である



プレートやカトラリーもクリスタルの輝きで満ちたテーブルセッティング



「The Chef's Table」での料理の数々



「Acanto Restaurant」の美しい店内



オープンエアのテラス席はカジュアルな雰囲気を楽しむ

が所有する高級ホテルブランド「Dochester Collection」に買収された。現在、イタリアではローマのホテルエデンと共にドーチェスターグループ傘下で高い評価を得ている。

プリンチペ ディ サヴォイアは市中心部から少し外れているにもかかわらず、ミラノきっての待ち合わせスポットである。昼間はラウンジ「Il Salotto」のアフタヌーンティー、夜はメインバー「Principe Bar」で地元のお洒落なセレブたちで賑わっている。今回は約90㎡の広さを誇る「Principe Suite」を紹介したい。正統派のリビングはもちろん、華やかなベッドルームとゴージャスなバスルームが人気のスイートだ。メインダイニング「Acanto

Restaurant」は本格的イタリア料理のレストランで、若きスターシェフの Alessandro Buffolino が腕を振るい、彼の“お任せ料理”である「The Chef's Table」は圧巻である。スパ施設「Club 10 Fitness & Beauty Center」はスイミングプールと五つのトリートメントルームを用意している。

プリンチペ ディ サヴォイアには天皇后両陛下もお泊まりになり、ヴェネツィア映画祭で金獅子賞に輝いたソフィア・コッポラ監督の映画「SOMEWHERE」のロケにも使われ、ホテルへの注目度は高い。ミラノ中心部のスカラ座へはメルセデスのバンがシャトル運行しており、ギャラリアやドゥオモの観光にも嬉しいサービスと言える。



約90㎡の広さを誇る「Principe Suite」の華麗なベッドルーム。プリンチペ ディ サヴォイアは現在、ブルネイ投資庁「BIA」が所有する高級ホテルブランド「Dochester Collection」の傘下であり、イタリアではローマのホテルエデンと共にドーチェスターグループで高い評価を得ている



重厚、かつ威厳あふれるライティングデスク



十分な広さを確保した正統派のリビングルーム



ホテル GM からのホスピタリティーが伝わるウェルカムアメニティー



独立したバスタブとローズウッドのツインシンクが映えるゴージャスなバスルーム